

6月

月間指導計画

5歳児



保育目標		集団生活でのルールやマナーについて知り、生活や遊びの中で実行しようとする。 梅雨ならではの遊びや自然を楽しむ。			
子どもの姿		時にはぶつかり合うこともあるが、友達と一緒に集団で遊んだり、ルールのある遊びを積極的に行ったりする。 梅雨の現象について図鑑で見たり、保育者に聞いたりする。			
年間区別		ねらい	環境・構成	予想される子どもの活動	配慮事項
養護	生命	気温や湿度に留意し、清潔な環境で過ごせるようにする。	気温・湿度は定期的にチェックする。 適度な水分補給ができるよう、お茶とコップを準備する。	友達と一緒に活発に遊ぶ。 遊びに夢中になっていくうちに汗ばむ子どももいる。	子どもの様子を観察し、適切なタイミングで水分補給ができるようにする。
	情緒	友達とのやり取りの中で感じた悔しい思いや悲しい思いを保育者に受け止めてもらい安心して過ごせるようにする	子ども同士のかかわりを大切にするため、遊びに集中しているときは見守る。	ぶつかり合いをしながらも、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。 時に叩き合うこともある。	子どもからの働きかけにすぐに対応し、安心して遊びを継続できるようにする。
教育	健康	自主的にうがいや手洗いをするなど、自分の健康に興味を持つ。	各ロッカーにコップを準備する。 正しい手洗いの仕方など、看護師の保健指導を行う。	遊びたい気持ちが強く、手洗いなどを簡単に済ませようとすることがある。	正しい手洗いの必要性を繰り返し伝えていく。
	人間関係	フルーツバスケットや鬼ごっこなど、ルールのある遊びを友達と一緒に楽しむ。	初めにルールを説明する。言葉だけでは難しい場合は、イラストや実演で知らせていく。	友達を誘って、ルールのある遊びをやってみようとする。 負けると悔しそうにする。	集団遊びが苦手な子には無理強いせず、参加できる方法を工夫していく。 ルールの理解が難しい時には、個別に知らせていく。
	環境	梅雨ならではの自然現象や生き物について興味を持って触れてみる。	興味を持ったものについて調べられるように図鑑を用意する。	図鑑を見ながら「これしてる！」「〇〇にあったよ」と言い合う。	保育者と一緒に活動し、子ども達の興味関心を広げられるようにしていく。
	言語	友達の話や自分の話をしたりして会話を楽しむ。	生活発表の場を作ったりと、伝えたい気持ちを実行できるようにする。 ごっこ遊びなど、遊びの中で会話をする機会を作る。	自分の気持ちを積極的に話そうとする。 友達の話や聞いて質問する姿も見られるようになる。	戸惑う様子が見られた時にはさりげなく援助をすることで、伝えられたという達成感を味わえるようにする。
	表現	季節のうたのリズムに合わせて、楽器を鳴らして楽しむ。	様々な楽器を用意する。 興味を持った楽器に触れられるよう、数は十分に用意する。	楽器をもって鳴らして楽しむ。 正しい使い方のできない子もいる。	楽器の使い方を伝え、正しく使用できるようにする。
食育	お当番を作り、感染対策をしながらもできるだけ配膳に参加できるようにする。	初めに適切な量を示しておく。 配膳中は話をしないという約束をする。	給食当番をすることを喜ぶ。 時々失敗をしながらも、積極的にお当番活動を行う。	うまく配膳できたときには十分にほめ、満足感を持って臨めるようにする。	
健康・安全	遊具の正しい使い方を知らせ、危険のない遊び方を伝えていく。 外遊びの後はすすんで手洗いうがいができるようにする。				
保護者支援	室内で過ごすことが増えるため、自由に制作できるよう廃材収集の協力をお願いする。 友達とのぶつかり合いがあった時には保護者に正確に伝え、安心して預けていただけるようにする。				